

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 持続可能な市政運営に向けた瀬戸市の財政規律と将来見通しについて</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市におきましては、「新財政規律ガイドライン」を財政運営の指針として定め、財政調整基金残高、公共施設等整備基金残高、実質公債費比率の3項目について目標値を設定し、持続可能な財政運営に努めている。</p> <p>また、中長期的な財政運営の指針として「財政収支見通し」を公表している。</p> <p>財政運営に重要なのは、現在の数値が良好であるかどうかだけでなく、数値が正確に公表されていること。そして、その数値がどのような前提の上に成り立ち、将来リスクをどこまで、織り込んだものとなっているかである。</p>	<p>(1) 「新財政規律ガイドライン」から見える瀬戸市の財政状況について</p>	<p>① 本市では、平成27年度に第6次総合計画の実施に合わせた財政運営の指針として「新財政規律ガイドライン」を策定している。このガイドラインにおいて設定した3つの指標①財政調整基金②公共施設等整備基金③実質公債費比率を管理することで、施策・事業を推進しつつ、基金の積立と地方債の計画的な借入を行い、健全性の確保と持続可能な財政運営を行っていると理解しているが、本市の「新財政規律ガイドライン」から見える財政状況の特徴と課題をどのように認識しているか、見解を伺う。</p> <p>② 「新財政規律ガイドライン」で把握した財政状況の分析結果を予算編成や財政運営にどのように反映しているか伺う。</p> <p>③ 「新財政規律ガイドライン」は、第6次総合計画の実施に合わせて策定された指針であると理解しているが、令和8年度には、新たな総合計画が策定がされる。新たな財政規律ガイドライン策定の考え方及び考えられる新たな指標について、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>見通しは作成すること自体が目的ではなく、見通しと実績の乖離を検証し、予算編成や政策判断へ反映させることで、初めて経営管理資料としての意味を持つものと考え</p> <p>そこで、本市が作成している瀬戸市の財政状況及び財政収支見通しが、実際の財政運営において財政リスク管理と見通し管理として、どのように機能しているのか、「新財政規律ガイドライン」の実効性を含めて、伺う。</p>	<p>(2) 財政収支見通しから見える本市の財政構造変化について</p>	<p>① 本市では毎年度、今後5か年の財政収支見通しを作成し、計画的な財政運営により、財政の健全性を保ちつつ、持続可能な財政基盤の確立を目指すとしており、人口減少、超高齢化の進展、公共施設等の老朽化、防災減災への対応などの将来課題を踏まえて作成していると理解しているが、本市の財政収支見通しの特徴と課題をどのように認識しているか、見解を伺う。</p> <p>② 生産年齢人口割合の減少による税収の減収について、本市も財政収支見通しの中で課題として触れている。一方、市税を含めた歳入全体の見通しについても、大きく伸びる構造になっておらず、歳出増加を十分に賄える状況にはないと考える。今後の歳入見通しについて、どのように認識しているか、見解を伺う。</p> <p>③ 財政収支見通しの中でも触れている、歳出の見通しについて、義務的経費である人件費・社会保障関連経費・公債費に加えてFM事業費やその他経費を含めた歳出も増加傾向であるが、今後の見通し含めて、見解を伺う。</p> <p>④ 財政収支見通しの中で、収支見通しとして各年度の歳入の見通しと歳出の見通しを比較すると、令和8年度は約16億円の収支不足が見込まれる。収支不足は年々拡大していき、令和12年度は約43億円の収支不足が見込まれているが、どのように対応していくのか、今後の見通しを含めて、見解を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 財政収支見通しの見直し管理とリスク管理について	<p>① 財政収支見通しの見直し管理において重要なことは、課題を認識していること自体ではなく、その課題をどこまで先回りして財政運営に織り込み、更に、見直しと実績の乖離を検証しながら次の予算編成に反映していくかと考えるが、令和5年・6年の財政収支見通しの見直しと、令和7年度の財政収支見通しの修正点において、注視した項目について、見解を伺う。</p> <p>② 令和8年度当初予算については、将来を見据えた施策を大いに盛り込んだ積極的な予算編成と理解しているが、市債の活用及び基金の依存について見直し管理とリスク管理を十分に認識した上での、想定範囲内の予算編成であるのか、見解を伺う。</p> <p>③ リスク管理において重要なのは、それぞれのリスクが今後どの程度財政を圧迫する可能性があるのかを具体的に見積り、下振れシナリオを踏まえた財政管理の必要性を感じるが、人口減少による市税収入への影響、超高齢化に伴う扶助費増加の可能性、公共施設更新費及びインフラ維持費の財源確保の計画をどのように想定するのか、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 持続可能な財政運営に向けた見通し管理の強化と解決策について	<p>① 本市は瀬戸市の財政状況を作成し、財政収支見通しを毎年度公表するなど、財政状況の把握と将来推計に努めている。今後、本市が持続可能な財政基盤を確立していくためには、見通しを公表するだけでなく、その精度を向上させ、瀬戸市の財政状況と財政収支見通しを連動させたリスク分析が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 本市の財政状況は今後ますます構造的課題への対応が必要となることが、予想される。だからこそ必要なのは、単なる歳出の削減ではなく、「地域に人を呼び、人が仕事を生み、仕事が税源を育てる」しごと・ひと・まちの好循環こそが“攻めの財政戦略”であると考えている。その“攻めの財政戦略”の一つが「中日ドラゴンズ2軍本拠地誘致」と考えるが、「中日ドラゴンズ2軍本拠地誘致」から考えられる、持続可能な財政運営の可能性について、市長に見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。